



平成 28 年 12 月 14 日

各 位

会 社 名 日鍛バルブ株式会社
代表者名 代表取締役社長 金 原 利 道
(コード番号 6493 東証第 二 部)
問合せ先 常務取締役 李 太 煥
(TEL. 0 4 6 3 - 8 2 - 1 3 1 1)

(訂正)「平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」

の一部訂正について

当社は、平成23年10月31日に開示いたしました「平成24年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正箇所

訂正の理由及び経緯につきましては、平成 28 年 12 月 14 日付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正内容と理由

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日鍛バルブ株式会社
 コード番号 6493 URL <http://www.niv.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 久雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 金原 利道

TEL 0463-82-1311

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年3月期第2四半期	16,245	△2.3	388	△71.2	365	△70.6	△163	—
23年3月期第2四半期	16,627	31.5	1,346	—	1,245	—	418	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △414百万円 (—％) 23年3月期第2四半期 252百万円 (—％)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	<u>△5.66</u>	—
23年3月期第2四半期	<u>14.50</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
24年3月期第2四半期	<u>37,764</u>	<u>26,638</u>	60.2
23年3月期	<u>38,932</u>	<u>27,403</u>	60.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 22,729百万円 23年3月期 23,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(％表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	34,000	4.9	1,550	△30.0	1,700	△22.8	200	△65.1	6.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	28,978,860 株	23年3月期	28,978,860 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	90,697 株	23年3月期	90,565 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	28,888,247 株	23年3月期2Q	28,888,463 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) 追加情報	P. 10
(6) セグメント情報等	P. 10
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11
4. 参考情報	P. 12
(1) 所在地別セグメント	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にありましたが、サプライチェーンの立て直しにより生産は持ち直しの傾向にありました。先行きについても、電力供給の制約や円高の影響など不透明な要素は抱えているものの、景気は持ち直していくことが見込まれます。世界経済は、中国・インドにおける内需を中心とした景気拡大や欧米地域における景気回復など、全体としては回復傾向にありましたが、そのテンポが緩やかとなっております。

また、当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内では震災の影響により大幅な減産を余儀なくされましたが、サプライチェーンの正常化にともない生産は急速な回復をみせております。海外ではアジア地域の内需拡大などを背景に堅調な推移となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針の達成に鋭意取り組むとともに、生産体制の合理化、海外事業展開の推進、新技術・新商品の開発など、諸施策を積極的に展開してまいりました。また、震災に起因する生産への影響を最小限にとどめるための施策を迅速かつ的確に講じてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績としましては、売上高につきましては、アジア地域を中心に海外事業は好調であったものの、震災影響による国内および北米の減産や為替の影響により、前年同期に比べ減収となる、162億45百万円（前年同期比2.3%減）となりました。損益面につきましては、震災影響による減産およびその後の受注急回復による生産効率の悪化などにより、営業利益3億88百万円（前年同期比71.2%減）、経常利益3億65百万円（前年同期比70.6%減）、四半期純損失1億63百万円（前年同期は四半期純利益4億18百万円）となりました。

報告セグメントの種類別の業績は次のとおりであります。

<小型エンジンバルブ>

乗用車用エンジンバルブにつきましては、国内生産は、回復傾向にはあったものの、震災影響による減産およびその後の受注急回復による生産効率の悪化などにより、四輪車用エンジンバルブ及び二輪車用エンジンバルブについては減収となりました。海外生産は、アジア地域では、為替の影響はあったものの、二輪車用エンジンバルブが大幅な増収となるなど、同地域における内需拡大を背景に概ね堅調な推移となりました。北米地域では、震災の影響および為替の影響により大幅な減収となりました。

汎用エンジンバルブにつきましては、北米向け汎用製品の好調などにより増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、106億88百万円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益（営業利益）は、2億1百万円（前年同期比80.1%減）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

<舶用部品>

補給部品等の舶用関連製品につきましては、国内外における海運・造船市場の需要が回復傾向にあることから、補給部品や大型機種が増加し、大幅な増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、15億47百万円（前年同期比19.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、1億36百万円（前年同期比51.8%増）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

<可変動弁・歯車>

可変動弁につきましては、モデルチェンジ効果や北米向け製品の好調などにより増加傾向にあったものの、一部需要の回復が想定より遅れたことにより減収となりました。

精密鍛造歯車につきましては、国内需要や一部の北米向け産業機械用製品は低調であったものの、中国などアジア地域を中心とする海外向け自動車用製品が好調に推移し、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、28億48百万円（前年同期比7.3%減）、セグメント利益（営業利益）は、10百万円（前年同期比87.8%減）となりました。

<その他>

バルブリフターにつきましては、海外向け製品の需要が回復傾向にありましたが、震災の影響により大幅な減収となりました。

工作機械につきましては、減収となりました。

ロイヤルティーにつきましては、前連結会計年度まで営業外収益に計上しておりましたが、海外取引の重要性の増大にともない、当連結会計年度より売上高に計上しております。

この結果、当セグメントの売上高は、16億76百万円（前年同期比10.8%減）、セグメント利益（営業利益）は、75百万円（前年同期比66.6%減）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、377億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億67百万円の減少となりました。

資産の部の流動資産は、159億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億57百万円の減少となりました。この主な要因は現金及び預金が6億28百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、218億47百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億9百万円の減少となりました。この主な要因は投資有価証券が12億18百万円減少したことなどによるものであります。

負債の部の流動負債は、79億50百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億68百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が3億17百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、31億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億70百万円の減少となりました。この主な要因は繰延税金負債が5億29百万円減少したことなどによるものであります。

純資産の部では、266億38百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億65百万円の減少となりました。この主な要因はその他有価証券評価差額金が7億67百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、30億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億28百万円の減少となりました。

営業活動より得られた資金は、前年同四半期に比べ16億98百万円減少し8億63百万円となりました。この主な要因は税金等調整前四半期純利益が10億38百万円減少したことによるものであります。

投資活動により使用した資金は、前年同四半期に比べ7億87百万円増加し10億43百万円となりました。この主な要因は有形及び無形固定資産の取得による支出が9億42百万円増加したことによるものです。

財務活動により使用した資金は、前年同四半期に比べ12億64百万円減少し4億9百万円となりました。この主な要因は短期借入金が増減額が11億65百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想は、当第2四半期の実績と今後の受注動向から修正をしております。詳細につきましては、平成23年10月28日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○法人税等の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,662,897	3,034,848
受取手形及び売掛金	5,445,858	6,277,142
商品及び製品	1,569,752	1,720,083
仕掛品	1,497,269	1,407,844
原材料及び貯蔵品	1,761,800	1,661,442
繰延税金資産	327,939	531,927
その他	1,911,641	1,286,383
貸倒引当金	△2,492	△2,518
流動資産合計	16,174,667	15,917,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,474,779	5,370,331
機械装置及び運搬具(純額)	5,140,620	6,065,926
土地	1,406,153	1,402,519
建設仮勘定	1,590,168	1,218,463
その他(純額)	303,918	296,351
有形固定資産合計	13,915,639	14,353,592
無形固定資産		
のれん	978,322	825,736
その他	249,243	261,731
無形固定資産合計	1,227,566	1,087,467
投資その他の資産		
投資有価証券	7,124,091	5,905,509
出資金	940	940
長期貸付金	115,386	121,436
繰延税金資産	179,305	194,445
その他	194,642	184,424
投資その他の資産合計	7,614,366	6,406,757
固定資産合計	22,757,572	21,847,817
資産合計	38,932,239	37,764,971

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,870,088	4,187,399
短期借入金	657,040	890,360
未払法人税等	149,825	171,752
繰延税金負債	382,155	415,112
賞与引当金	348,324	395,146
役員賞与引当金	38,300	-
その他	2,136,028	1,890,697
流動負債合計	7,581,762	7,950,468
固定負債		
長期未払金	21,100	295,176
長期借入金	195,000	130,000
繰延税金負債	736,026	206,732
退職給付引当金	2,909,235	2,463,773
その他	85,539	80,570
固定負債合計	3,946,901	3,176,253
負債合計	11,528,664	11,126,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,506,955	4,506,955
利益剰余金	13,782,374	13,445,566
自己株式	△45,256	△45,296
株主資本合計	22,774,616	22,437,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,563,890	1,796,610
為替換算調整勘定	△1,661,451	△1,504,553
その他の包括利益累計額合計	902,438	292,057
少数株主持分	3,726,520	3,908,423
純資産合計	27,403,575	26,638,249
負債純資産合計	38,932,239	37,764,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	16,627,335	16,245,649
売上原価	13,831,911	14,345,200
売上総利益	2,795,423	1,900,449
販売費及び一般管理費	1,448,473	1,512,387
営業利益	1,346,950	388,061
営業外収益		
受取利息	8,774	11,035
受取配当金	49,933	61,663
持分法による投資利益	34,770	30,052
雑収入	29,764	27,608
営業外収益合計	123,243	130,359
営業外費用		
支払利息	20,381	11,888
為替差損	192,060	132,913
雑損失	11,928	7,946
営業外費用合計	224,370	152,749
経常利益	1,245,823	365,672
特別利益		
固定資産売却益	157,370	1,756
その他	700	-
特別利益合計	158,070	1,756
特別損失		
固定資産売却損	-	4,883
固定資産除却損	9,157	65,652
本社工場再整備費	15,554	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43,979	-
特別損失合計	68,691	70,536
税金等調整前四半期純利益	1,335,202	296,891
法人税等	346,521	119,565
少数株主損益調整前四半期純利益	988,681	177,326
少数株主利益	569,769	340,804
四半期純利益又は四半期純損失(△)	418,911	△163,478

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	988,681	177,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△457,249	△767,267
為替換算調整勘定	△213,457	137,060
持分法適用会社に対する持分相当額	△65,014	38,595
その他の包括利益合計	△735,721	△591,611
四半期包括利益	252,959	△414,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△129,960	△773,859
少数株主に係る四半期包括利益	382,920	359,574

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,335,202	296,891
減価償却費	998,644	1,091,872
のれん償却額	170,942	175,408
貸倒引当金の増減額(△は減少)	304	-
退職給付引当金の増減額(△は減少)	76,999	△446,583
受取利息及び受取配当金	△58,708	△72,698
支払利息	20,381	11,888
持分法による投資損益(△は益)	△34,770	△30,052
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	△148,212	68,780
売上債権の増減額(△は増加)	△301,869	△825,387
たな卸資産の増減額(△は増加)	61,477	47,503
仕入債務の増減額(△は減少)	282,528	313,703
未払消費税等の増減額(△は減少)	△91,323	10,132
その他	477,238	410,087
小計	2,788,834	1,051,547
利息及び配当金の受取額	59,396	72,694
利息の支払額	△20,554	△13,462
法人税等の支払額	△266,038	△247,690
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,561,638	863,088
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△434,975	△1,377,867
有形及び無形固定資産の売却による収入	164,088	9,858
投資有価証券の取得による支出	△3,286	△4,037
貸付けによる支出	△623,574	△11,597
貸付金の回収による収入	654,776	330,509
その他	△12,343	10,101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△255,315	△1,043,033
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△845,520	320,000
長期借入金の返済による支出	△173,000	△153,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,661	△5,668
自己株式の取得による支出	△32	△39
配当金の支払額	△173,891	△173,365
少数株主への配当金の支払額	△476,768	△397,858
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,674,873	△409,932
現金及び現金同等物に係る換算差額	△73,363	△38,171
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	558,086	△628,048
現金及び現金同等物の期首残高	2,668,228	3,662,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,226,315	3,034,848

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
該当事項はありません。

(5) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	11,044,689	1,296,038	3,072,675	15,413,403	1,213,931	16,627,335	—	16,627,335
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,239	—	—	2,239	665,304	667,543	△667,543	—
計	11,046,929	1,296,038	3,072,675	15,415,643	1,879,236	17,294,879	△667,543	16,627,335
セグメント利益	<u>1,012,707</u>	90,070	86,953	<u>1,189,731</u>	225,928	<u>1,415,659</u>	△68,709	<u>1,346,950</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター・工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティー等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△68,709千円は、セグメント間取引消去△6,747千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△61,961千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. ロイヤルティーの表示方法につき、前期まで営業外収益に計上していましたが、第1四半期より売上に計上しております。これに伴い「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)を適用し、組替表示しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	10,671,142	1,546,990	2,848,515	15,066,648	1,179,001	16,245,649	—	16,245,649
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	16,935	523	—	17,459	497,535	514,995	△514,995	—
計	10,688,078	1,547,513	2,848,515	15,084,108	1,676,537	16,760,645	△514,995	16,245,649
セグメント利益	<u>201,144</u>	136,713	10,627	<u>348,485</u>	75,440	<u>423,926</u>	△35,864	<u>388,061</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター・工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティー等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△35,864千円は、セグメント間取引消去43,892千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△79,757千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

4. 参考情報

(1) 所在地別セグメント

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	合計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	10,437,520	3,899,148	1,743,459	165,521	16,245,649	—	16,245,649
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	512,110	127,786	21	—	639,918	(639,918)	—
計	10,949,631	4,026,935	1,743,480	165,521	16,885,568	(639,918)	16,245,649
営業利益又は 営業損失(△)	<u>△463,361</u>	965,628	32,184	△124,170	<u>410,281</u>	(22,219)	<u>388,061</u>

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 アジア…台湾、インドネシア、タイ、中国
 北米…アメリカ
 欧州…ポーランド

(訂正前)



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日鍛バルブ株式会社
コード番号 6493 URL <http://www.niv.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 久雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 金原 利道

TEL 0463-82-1311

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	16,245	△2.3	404	△69.7	382	△69.1	△146	—
23年3月期第2四半期	16,627	31.5	1,337	—	1,236	—	411	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △397百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 246百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△5.08	—
23年3月期第2四半期	14.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	37,829	26,680	60.2
23年3月期	38,980	27,428	60.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 22,771百万円 23年3月期 23,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	4.9	1,550	△29.7	1,700	△22.4	200	△64.6	6.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	28,978,860 株	23年3月期	28,978,860 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	90,697 株	23年3月期	90,565 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	28,888,247 株	23年3月期2Q	28,888,463 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) 追加情報	P. 10
(6) セグメント情報等	P. 10
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11
4. 参考情報	P. 12
(1) 所在地別セグメント	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にありましたが、サプライチェーンの立て直しにより生産は持ち直しの傾向にありました。先行きについても、電力供給の制約や円高の影響など不透明な要素は抱えているものの、景気は持ち直していくことが見込まれます。世界経済は、中国・インドにおける内需を中心とした景気拡大や欧米地域における景気回復など、全体としては回復傾向にありましたが、そのテンポが緩やかとなっております。

また、当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内では震災の影響により大幅な減産を余儀なくされましたが、サプライチェーンの正常化にともない生産は急速な回復をみせております。海外ではアジア地域の内需拡大などを背景に堅調な推移となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針の達成に鋭意取り組むとともに、生産体制の合理化、海外事業展開の推進、新技術・新商品の開発など、諸施策を積極的に展開してまいりました。また、震災に起因する生産への影響を最小限にとどめるための施策を迅速かつ的確に講じてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績としましては、売上高につきましては、アジア地域を中心に海外事業は好調であったものの、震災影響による国内および北米の減産や為替の影響により、前年同期に比べ減収となる、162億45百万円（前年同期比2.3%減）となりました。損益面につきましては、震災影響による減産およびその後の受注急回復による生産効率の悪化などにより、営業利益4億4百万円（前年同期比69.7%減）、経常利益3億82百万円（前年同期比69.1%減）、四半期純損失1億46百万円（前年同期は四半期純利益4億11百万円）となりました。

報告セグメントの種類別の業績は次のとおりであります。

<小型エンジンバルブ>

乗用車用エンジンバルブにつきましては、国内生産は、回復傾向にはあったものの、震災影響による減産およびその後の受注急回復による生産効率の悪化などにより、四輪車用エンジンバルブ及び二輪車用エンジンバルブについては減収となりました。海外生産は、アジア地域では、為替の影響はあったものの、二輪車用エンジンバルブが大幅な増収となるなど、同地域における内需拡大を背景に概ね堅調な推移となりました。北米地域では、震災の影響および為替の影響により大幅な減収となりました。

汎用エンジンバルブにつきましては、北米向け汎用製品の好調などにより増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、106億88百万円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益（営業利益）は、2億17百万円（前年同期比78.3%減）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

<舶用部品>

補給部品等の舶用関連製品につきましては、国内外における海運・造船市場の需要が回復傾向にあることから、補給部品や大型機種が増加し、大幅な増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、15億47百万円（前年同期比19.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、1億36百万円（前年同期比51.8%増）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

<可変動弁・歯車>

可変動弁につきましては、モデルチェンジ効果や北米向け製品の好調などにより増加傾向にあったものの、一部需要の回復が想定より遅れたことにより減収となりました。

精密鍛造歯車につきましては、国内需要や一部の北米向け産業機械用製品は低調であったものの、中国などアジア地域を中心とする海外向け自動車用製品が好調に推移し、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、28億48百万円（前年同期比7.3%減）、セグメント利益（営業利益）は、10百万円（前年同期比87.8%減）となりました。

<その他>

バルブリフターにつきましては、海外向け製品の需要が回復傾向にありましたが、震災の影響により大幅な減収となりました。

工作機械につきましては、減収となりました。

ロイヤルティーにつきましては、前連結会計年度まで営業外収益に計上しておりましたが、海外取引の重要性の増大にともない、当連結会計年度より売上高に計上しております。

この結果、当セグメントの売上高は、16億76百万円（前年同期比10.8%減）、セグメント利益（営業利益）は、75百万円（前年同期比66.6%減）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、378億29百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億50百万円の減少となりました。

資産の部の流動資産は、159億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億40百万円の減少となりました。この主な要因は現金及び預金が6億28百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、218億47百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億9百万円の減少となりました。この主な要因は投資有価証券が12億18百万円減少したことなどによるものであります。

負債の部の流動負債は、79億73百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億68百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が3億17百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、31億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億70百万円の減少となりました。この主な要因は繰延税金負債が5億29百万円減少したことなどによるものであります。

純資産の部では、266億80百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億48百万円の減少となりました。この主な要因はその他有価証券評価差額金が7億67百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、30億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億28百万円の減少となりました。

営業活動より得られた資金は、前年同四半期に比べ16億98百万円減少し8億63百万円となりました。この主な要因は税金等調整前四半期純利益が10億11百万円減少したことによるものであります。

投資活動により使用した資金は、前年同四半期に比べ7億87百万円増加し10億43百万円となりました。この主な要因は有形及び無形固定資産の取得による支出が9億42百万円増加したことによるものです。

財務活動により使用した資金は、前年同四半期に比べ12億64百万円減少し4億9百万円となりました。この主な要因は短期借入金を増減額が11億65百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想は、当第2四半期の実績と今後の受注動向から修正をしております。詳細につきましては、平成23年10月28日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○法人税等の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,662,897	3,034,848
受取手形及び売掛金	5,445,858	6,277,142
商品及び製品	1,577,491	1,765,567
仕掛品	1,500,725	1,375,332
原材料及び貯蔵品	1,789,371	1,703,825
繰延税金資産	337,167	541,154
その他	1,911,641	1,286,383
貸倒引当金	△2,492	△2,518
流動資産合計	16,222,659	15,981,737
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,474,779	5,370,331
機械装置及び運搬具(純額)	5,140,620	6,065,926
土地	1,406,153	1,402,519
建設仮勘定	1,590,168	1,218,463
その他(純額)	303,918	296,351
有形固定資産合計	13,915,639	14,353,592
無形固定資産		
のれん	978,322	825,736
その他	249,243	261,731
無形固定資産合計	1,227,566	1,087,467
投資その他の資産		
投資有価証券	7,124,091	5,905,509
出資金	940	940
長期貸付金	115,386	121,436
繰延税金資産	179,305	194,445
その他	194,642	184,424
投資その他の資産合計	7,614,366	6,406,757
固定資産合計	22,757,572	21,847,817
資産合計	38,980,231	37,829,554

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,870,088	4,187,399
短期借入金	657,040	890,360
未払法人税等	149,825	171,752
繰延税金負債	382,155	415,112
賞与引当金	348,324	395,146
役員賞与引当金	38,300	-
その他	<u>2,158,705</u>	<u>1,913,374</u>
流動負債合計	<u>7,604,439</u>	<u>7,973,145</u>
固定負債		
長期未払金	21,100	295,176
長期借入金	195,000	130,000
繰延税金負債	736,026	206,732
退職給付引当金	2,909,235	2,463,773
その他	85,539	80,570
固定負債合計	<u>3,946,901</u>	<u>3,176,253</u>
負債合計	<u>11,551,341</u>	<u>11,149,399</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,506,955	4,506,955
利益剰余金	<u>13,807,689</u>	<u>13,487,473</u>
自己株式	△45,256	△45,296
株主資本合計	<u>22,799,931</u>	<u>22,479,675</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,563,890	1,796,610
為替換算調整勘定	△1,661,451	△1,504,553
その他の包括利益累計額合計	<u>902,438</u>	<u>292,057</u>
少数株主持分	3,726,520	3,908,423
純資産合計	<u>27,428,890</u>	<u>26,680,155</u>
負債純資産合計	<u>38,980,231</u>	<u>37,829,554</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	16,627,335	16,245,649
売上原価	13,841,648	14,328,608
売上総利益	2,785,687	1,917,041
販売費及び一般管理費	1,448,473	1,512,387
営業利益	1,337,213	404,653
営業外収益		
受取利息	8,774	11,035
受取配当金	49,933	61,663
持分法による投資利益	34,770	30,052
雑収入	29,764	27,608
営業外収益合計	123,243	130,359
営業外費用		
支払利息	20,381	11,888
為替差損	192,060	132,913
雑損失	11,928	7,946
営業外費用合計	224,370	152,749
経常利益	1,236,086	382,263
特別利益		
固定資産売却益	157,370	1,756
その他	700	-
特別利益合計	158,070	1,756
特別損失		
固定資産売却損	-	4,883
固定資産除却損	9,157	65,652
本社工場再整備費	15,554	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43,979	-
特別損失合計	68,691	70,536
税金等調整前四半期純利益	1,325,465	313,483
法人税等	343,712	119,565
少数株主損益調整前四半期純利益	981,753	193,918
少数株主利益	569,769	340,804
四半期純利益又は四半期純損失(△)	411,983	△146,886

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	981,753	193,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△457,249	△767,267
為替換算調整勘定	△213,457	137,060
持分法適用会社に対する持分相当額	△65,014	38,595
その他の包括利益合計	△735,721	△591,611
四半期包括利益	246,032	△397,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△136,887	△757,267
少数株主に係る四半期包括利益	382,920	359,574

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,325,465	313,483
減価償却費	998,644	1,091,872
のれん償却額	170,942	175,408
貸倒引当金の増減額(△は減少)	304	-
退職給付引当金の増減額(△は減少)	76,999	△446,583
受取利息及び受取配当金	△58,708	△72,698
支払利息	20,381	11,888
持分法による投資損益(△は益)	△34,770	△30,052
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	△148,212	68,780
売上債権の増減額(△は増加)	△301,869	△825,387
たな卸資産の増減額(△は増加)	71,214	30,911
仕入債務の増減額(△は減少)	282,528	313,703
未払消費税等の増減額(△は減少)	△91,323	10,132
その他	477,238	410,087
小計	2,788,834	1,051,547
利息及び配当金の受取額	59,396	72,694
利息の支払額	△20,554	△13,462
法人税等の支払額	△266,038	△247,690
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,561,638	863,088
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△434,975	△1,377,867
有形及び無形固定資産の売却による収入	164,088	9,858
投資有価証券の取得による支出	△3,286	△4,037
貸付けによる支出	△623,574	△11,597
貸付金の回収による収入	654,776	330,509
その他	△12,343	10,101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△255,315	△1,043,033
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△845,520	320,000
長期借入金の返済による支出	△173,000	△153,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,661	△5,668
自己株式の取得による支出	△32	△39
配当金の支払額	△173,891	△173,365
少数株主への配当金の支払額	△476,768	△397,858
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,674,873	△409,932
現金及び現金同等物に係る換算差額	△73,363	△38,171
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	558,086	△628,048
現金及び現金同等物の期首残高	2,668,228	3,662,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,226,315	3,034,848

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
該当事項はありません。

(5) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	11,044,689	1,296,038	3,072,675	15,413,403	1,213,931	16,627,335	—	16,627,335
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,239	—	—	2,239	665,304	667,543	△667,543	—
計	11,046,929	1,296,038	3,072,675	15,415,643	1,879,236	17,294,879	△667,543	16,627,335
セグメント利益	<u>1,002,970</u>	90,070	86,953	<u>1,179,994</u>	225,928	<u>1,405,923</u>	△68,709	<u>1,337,213</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター・工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティ等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△68,709千円は、セグメント間取引消去△6,747千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△61,961千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. ロイヤルティーの表示方法につき、前期まで営業外収益に計上していましたが、第1四半期より売上に計上しております。これに伴い「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)を適用し、組替表示しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	10,671,142	1,546,990	2,848,515	15,066,648	1,179,001	16,245,649	—	16,245,649
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	16,935	523	—	17,459	497,535	514,995	△514,995	—
計	10,688,078	1,547,513	2,848,515	15,084,108	1,676,537	16,760,645	△514,995	16,245,649
セグメント利益	<u>217,736</u>	136,713	10,627	<u>365,077</u>	75,440	<u>440,517</u>	△35,864	<u>404,653</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター・工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティー等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△35,864千円は、セグメント間取引消去43,892千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△79,757千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

4. 参考情報

(1) 所在地別セグメント

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	合計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	10,437,520	3,899,148	1,743,459	165,521	16,245,649	—	16,245,649
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	512,110	127,786	21	—	639,918	(639,918)	—
計	10,949,631	4,026,935	1,743,480	165,521	16,885,568	(639,918)	16,245,649
営業利益又は 営業損失(△)	<u>△446,769</u>	965,628	32,184	△124,170	<u>426,873</u>	(22,219)	<u>404,653</u>

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 アジア…台湾、インドネシア、タイ、中国
 北米…アメリカ
 欧州…ポーランド